

東京外環道 事業者が住民を

監視・盗撮・蔑視

「しんぶん赤旗」
スクープ!

東京外かく環状道路(外環道)の関連工事を施工している鹿島建設JV(共同企業体)が、住民を監視・盗撮し、中傷するやりとりをしていたことが、日本共産党の発行する「しんぶん赤旗日曜版」のスクープで明らかになりました。

右表は、外環道事業で2020年10月に調布市東つじヶ丘で起きた陥没事故の対応のため、ゆるんだ地盤の補修工事を行う鹿島JVのグループチャット内のやりとりです。プライバシーを無視し、住民の監視・盗撮をしている実態が赤裸々に記されていました。

鹿島建設やNEXCO東日本は「現場周辺にお住まいの方に対する礼節を欠いた表現を用いて情報交換を行っていた」と発表しましたが、住民の監視・盗撮ではなく、騒音・振動の確認や現場周辺の安全確保のために「必要な行為である」と強弁し、継続する姿勢です。

被害住民のみならず、日本共産党は国土交通省へ何度も指導を要請しました。しかし、国は「『監視・盗撮が目的ではなく、現場での安全確保や対応が必要になるかもしれないため』と聞いており、それは当然だ」(8/8)と鹿島側の言い分を擁護しています。

鹿島建設JVでグループチャットで共有された住民の情報(一部)



●●とフリージャーナリストが▲▲と話をしてみたいですが、居なくなりました



■■奥様2Fベランダからお覗き中



(カメラ設置が)「覗かれているようで気持ち悪い」とのことです。…◆◆様監視用でしょうか?(笑)



仕事よりもクレームで稼ごうとしています



あとは明日のお婆さまの体調次第です。具合悪くならないことをただ祈のみです。合掌。

「しんぶん赤旗日曜版」より

外環道工事のお困りごとをお聞かせください

元都議会議員(調布・狛江選出)

田中とも子



私が都政へ届けます

公共事業の体をなしていない!



2024.8.8 国交省レク動画
被害住民を前に答弁拒否
国と事業者は異常です



外環道工事 中止の決断を 日本共産党

陥没事故から5年、何十軒も立ち退き

2020年10月に東つつじが丘で発生した、外環道トンネル工事地上部での陥没事故。家が傾く、塀が壊れるなどの被害があり、そのうえ何十軒も立ち退きする事態になっています。

さらに23年から始まった「地盤補修工事」での騒音被害も住民を苦しめています。

そもそも憲法違反“用地買収回避”

外環道工事は地下40m以下の「大深度」の公共利用に地上地権者の同意を不要とした、大深度地下法に基づく工事です。この法律は憲法で定められた財産権を侵害するものであり、廃止を求めます。そして“大深度なら地上への影響はない”として工事を認可した国の責任は重大です。

相次ぐ事業者の不祥事

野川沿いの道路の複数の穴を外環事業者が市に許可なく埋め戻し▼地盤補修工事中に、人間川で気泡発生▼資機材の詰め替え場で陥没を勝手に埋め戻し——その上、今回の被害住民「監視・盗撮・蔑視」。もはや公共事業の事業者として資格が問われる事態です。

事業費2兆円超も「見通せない」

当初から「1m1億円」と巨額の事業費が批判されていましたが、その後総事業費は計画の1.8倍の2.3兆円になり、しかも陥没事故で「総事業費は見通せない」(国交副大臣)。今すぐ中止を!

住民合意なしに地下の
トンネル工事を可能にする
「大深度地下法」

廃止法案を
日本共産党は
国会に提出



2024.10.3 参議院 詳細はQR

外環道工事の略年表

- 1966年 外環道都市計画決定(高架。3年後に事業凍結)
- 2000年 大深度地下法が自民・公明などの賛成で成立。共産は反対
- 17年 工法を地下トンネル方式に変更し、シールド掘削開始
- 20年 東つつじヶ丘で陥没事故が発生
- 21年 調布市が事業者に住民の個人情報情報を漏えいしていたことが発覚
- 22年 「しんぶん赤旗」が外環道工事の事業範囲違反をスクープ
- 23年 陥没地域の地盤補修工事を開始
「しんぶん赤旗」が市に無断で道路補修を行っていたことをスクープ
- 24年 「しんぶん赤旗」が住民監視・盗撮問題をスクープ